

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

あたりまえ

帯広市長 米沢 則寿



皆さんは日頃、安全について意識することはありますか。私たちの生活は、さまざまな危険と隣り合わせにあります。安全のための技術は進歩し、仕組みや環境も整ってきた結果、日々の生活において安全を意識することはあまりない、という方も多いのではないのでしょうか。それでも、ミスやエラー、まさかと思うような事故も起きるのが現実です。技術が足りないのか、それに頼り過ぎていいのか、安全を担保するには何が必要なのか、でしょうか。

人は、さまざまな常識やルール、コミュニケーションの中で行動していますが、あたりまえと捉えていたことが、人や場所によって、捉え方が異なる場合があります。私が、大学卒業後に初めて勤めた会社では「〇（マル）」という言葉（符丁）が使われていました。形が「0（ゼロ）」と似ているこ

とから「無くなった、キャンセルになった」という意味を指し、私も「あの予定は〇になった」という使い方を自然とするようになりました。その後、転職して間もない頃、上司から「明日の予定は〇になった」と伝えられ、手帳の予定を消したところ、翌日に「昨日伝えた件の資料はできていますか」と問われました。「その予定は無くなりましたよ」と聞き返すと「予定通りに決まったから、〇と伝えただけ」と言われて、慌てたことがありました。その会社では、前の会社とは真逆の意味で「〇」が使われていたのです。

世の中のルールやさまざまなモノの設計など、安全を担保するための仕組みが、常識をベースにつくられ、コミュニケーションが行われているとしたなら、ミスや事故は、その常識と想っていたことが、実はそうではなかった時に起こるのかもしれない。そう考えると、安全をはじめ、さまざまなリスクを回避するには、まずは、常識やあたりまえを疑ってみる、ことから始まるように思います。

自分の持っているあたりまえは、時代に合っているだろうか、先入観や偏見は含まれていないだろうか疑ってみる。また、人と自分の考えるあたりまえも違うかもしれない。あつてはならないということではなく、それをコミュニケーションにより、お互いが確認していく。それが何よりも必要なことのように思います。

分かっているだろう、常識だろう、あたりまえだろう、そう思っても一歩かけて確認する。そんな日頃のコミュニケーションを大切にしていきたいものです。

3月1日から

戸籍の広域交付が開始

戸籍法の改正により、戸籍謄本等の取得や戸籍の届け出が便利になります。

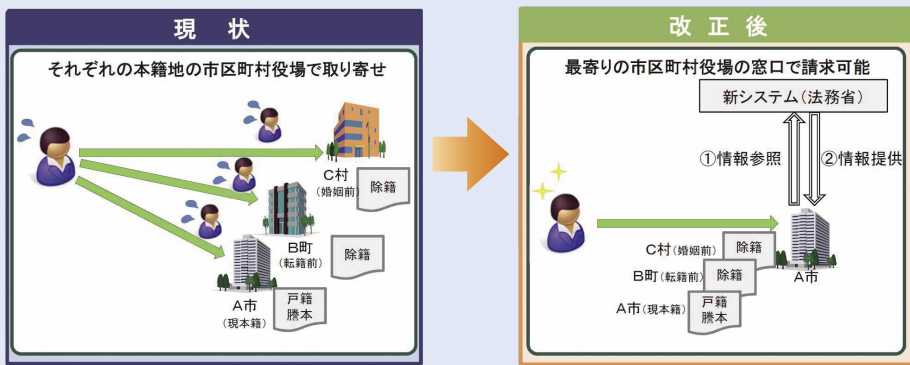
市ホームページID.1016604

問い合わせ 戸籍住民課（市庁舎1階、☎65・4141）

帯広市以外の本籍地の戸籍謄本等が取得できます

戸籍の広域交付によって、本籍地が遠隔にある人でも、お住まいの市区町村や勤務先の最寄りの市区町村など、全国どこの役場でも戸籍謄本等を取得できるようになります。戸籍謄本等を取得する際は、本人確認のため、マイナンバーカードや運転免許証など、顔写真付きの身分証明書を持参の上、戸籍住民課へお越しください。支所やコミセンでの請求、郵送、代理人による請求はできません。

なお、本制度のほか、コンビニ交付サービスでは、事前の手続きなどにより、帯広市以外の本籍地の戸籍謄本等が取得可能になる場合があります。



戸籍の届け出も便利に

婚姻届など戸籍の届け出の際に、戸籍謄抄本の添付が不要となります。



法務省ホームページ▶

市政のお知らせを放送しています

- ◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。
- ◆ラジオ(毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20
おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

広報掲載記事に関連するWEBページを簡単に探せます

広報記事内に記載されている7桁の数字(ページID)を、市ホームページの「広報ページID検索」欄に入力するだけで該当WEBページのより詳細な情報が確認できます。ぜひご利用ください。

市ホームページID. 1000038

問い合わせ 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihiro.hokkaido.jp)

おびひろ カメラレポ OBIHIRO CAMERA REPORT

おびひろ氷まつりの開催に合わせて、自動運転バスの実証実験が行われました。実験に用いられた車両は、エストニア共和国のオーブテック社製で、雪道でも走行できるほか、障害物を検知し、自動で回避できる特徴があります。試乗会では、出発時や交差点への侵入時などに、タブレットやゲームのコントローラーを用いて操作する場面がありましたが、ウインカーを挙げたり、減速したりなど、走行中の操作はほぼすべて自動化されており、改めて、技術力の高さを感じました。(1月30日、緑ヶ丘公園)



百年記念館で開催した「ロビー展『動画で旅する十勝の歴史4』」。同館所蔵の8mmフィルムに収められていた動画をデジタル化し、今回の展示では、昭和50年前後のおびひろ氷まつり・広小路七夕まつり・池田町あきあじまつりの3本が放映されました。現在ではデジタル化の進展により、フィルムに収められている動画も、電子化して見られるようになりました。ロビー展では、来年度も本企画の第5弾を開催する予定ですので、十勝の歴史をひも解きにきてください。(1月6日~2月4日、百年記念館)

